



“田井精神”は受け継がれています。

7月13日は田井小学校の創立記念日でした。毎年、この日は、講師をお招きし、田井小学校の歴史や古い時代の様子等のお話をいただいています。

今回は、椿澤町の下村芳明様（大河津小の教頭先生）からお話をいただきました。



- 当時の田井小のプールは20m。グラウンドは1週100m。
- 遊具がいっぱいあった。遊びといえばハンドベースや野球ばかりしていた。
- 全校児童は120～150人はいた。
- 給食はご飯はなく、パンやソフトメンだった。あげパンが思い出に残っている。
- 田井の『た』は“体力”の『た』！田井の『い』は“意気ごみ”の『い』!!という『田井精神』というのがあった。等

この他に、『7. 13 水害』と『中越地震』についても話していただきました。

- 刈谷田川が切れて、どの道路も水で通れなくなり、家に帰れなかった。
 - 今町小に勤めていて、二日間も学校に泊まった。
 - 地震の瞬間はお店にいて、棚が倒れてきたので知らない小さな子の手を取り避難した。等
- そして、田井小学校の皆さんにお願いしたいこととして、次の2点を強調されました。



命を大切にすること

この田井の地域を愛してほしいこと

最後は、みんなで校歌を歌って、創立記念朝会を終わりました。

その後の1時間目の道徳の時間で、振り返った3・4年生の感想です。

学校にずっと泊まっていて、下村先生はさみしくなかったのかなと思いました。けがをしたりしないように、命を大切にしたいです。

下村先生は「命を大切にしてほしい」と言っていました。そして、「田井地区や学校を好きになってほしい」とも言っていました。ぼくも田井の地区や学校を好きになりたいです。



学校運営協議会と学校支援地域本部の皆様と、牛乳で乾杯をし、142歳をお祝いました。

【田井精神】

田井の (た) は体力の(た)
田井の (い) は意気ごみの(い)
どんなことでもやりぬきます。

【今の合言葉】

田井の子は心も体も健やかに
自ら進んでがんばります！

歴史と伝統ある私たちの田井小学校について、改めて思いを巡らすよい日となりました。
(校長 伊藤芳文)

初の試み！地域のお年寄りの皆さんとの給食昼食会(6/18&7/15)

北谷南部みつばコミュニティとの共催による、初の試みとして実施した『給食昼食会』。両日とも20名を超える皆様と一緒に楽しい一時を過ごしました。

地域の皆様からは子どもたちを見ていただき、学校に孫がいなくても気軽に来られる所という気持ちを持っていただければと思います。

子どもたちにとっては地域の方とのふれあいを通し、望ましい社会性の育成の機会として、また、子どもたちのパワーで地域に貢献する機会として大切にしていきたいと思っています。

今後は9月と11月にも実施予定でいます。



地域や学校のクイズ

保護者(7/10)も子どもも(7/13)も救急法講習

本格的なプールや海での水泳シーズンを前に、救急法の講習会(児童は応急手当プログラム)を行いました。子どもたちは人工呼吸やAEDの使い方、そして、通報訓練も行いました。



PTA

万が一の時には、知っているのとそうでないのでは大違いです。年に1回の講習会ですが、貴重な実技体験となりました。



児童

【水泳授業でもタブレットを活用！】

自分の泳ぐフォームは、自分では分からないものです。それを補うためにタブレットが大活躍です。撮ったその場で確認でき、その変容も分かります。



【読書週間で職員による読み聞かせ！】

今回は4つの『お話の部屋』がありました。子どもたちは題名だけを手掛かりに、思い思いの部屋で読み聞かせを楽しみ、落ち着いて一日のスタートを切りました。



第2回学校運営協議会(7/13)

今回は、前期の学校評価(児童・保護者アンケートを基に)の結果を主に意見交換が行われました。

「児童は高評価になっているが、保護者の評価は低い内容がある。そのズレの要因は?」「命の大切さについて学校ではどのような指導を?」「南中の生徒のあいさつがとてもよい。小学校からの取組の成果であろう。」「小規模校の良さが評価の結果に現れているのでは。」等、多くのご意見をいただくことができ、たいへん有意義な会となりました。



見附祭りで、今年も4~6年生がみつば太鼓で出場します。25日(土)の午後2時と3時過ぎに演奏予定です。大光銀行の近くです。皆様、ぜひともご覧いただき、ご声援をよろしくお願いいたします。

